

曾於市 Soo CITY 話題の広場 Topics

本物の「話芸」に爆笑



三遊亭好楽さん



三遊亭歌之介さん



三遊亭円楽さん

8月19日、財部きらめきセンターで「三遊亭好楽・三遊亭円楽・三遊亭歌之介 落語三人会」が開催されました。

「笑点」でおなじみの好楽さん、円楽さんに「薩摩の爆笑王」こと歌之介さんという豪華な顔がそろった落語会に、会場には早い時間から多くのお客さんが集まっていました。

演目が始まると、3人の落語家さんは身振り手振りを加えながら、次々と巧みな話芸を披露されました。その素晴らしい芸に、会場からは感嘆の声と爆笑が起きていました。

終演後には、「やはりプロの落語家は面白い」という声が会場のあちこちから聞こえていました。

本物の「話芸」に触れ、集まったお客さんは心からの笑顔で帰路につかれています。

全日本着付け日本一

7月22日、大阪よみうり文化ホールにおいて、NPO法人日本礼美協会・日本和装学園主催の第40回全日本きもの着付選手権大会が開催され、大隅町岩川^{もち}の持田泰香^{だやすか}さんが見事、振袖の部で日本一に輝かれました。

持田さんは、曾於市総合大学の着付け講座の受講生で、講師の溝口千恵子先生のもとで指導を受けられました。今回は、全国より集まった約150名の参加者の中からの受賞となりました。

「これを機会に、もっと多くの方に着物の良さ、着付けの楽しさを知ってもらえるように頑張りたい」と感想を述べられました。



日本一に輝いた持田さん（写真右から2番目）

宝くじの助成金で自走式草刈機を整備



自走式草刈機

平成24年度コミュニティ助成事業により、旧大隅北中と旧恒吉中のグラウンド維持管理のために自走式草刈機を整備しました。

この事業は、地区公民館組織等が自主的に行うコミュニティ活動の促進を図り、地域の連帯感に基づく自治意識を盛り上げることを目指すもので、財団法人自治総合センターが、コミュニティ活動に直接必要な設備の整備を支援しています。この設備は、今後も校区民の活動の交流拠点施設としての中学校校跡地利用のため、適正な維持管理に活用されます。

総合大学「ジュニア陶芸」講座一日研修

8月22日、曾於市総合大学「ジュニア陶芸」講座の中で、普段の学習の場をはなれ、講師3名、受講生13名で始良市加治木町にある龍門司焼（県指定無形文化財）の窯場を見学し、龍門司焼の伝統について話を聞きました。また近くの陶夢ランドの陶芸体験コーナーで陶工さんよりアドバイスを受けて、手びねりや絵付けの基礎を学びました。

これからも楽しく学ぶことの大切さを忘れずに、未来の陶芸家を目指して頑張ってもらいたいと思います。



陶工さんの説明を熱心に聞く受講生

こころの健康づくり

8月25日、財部きらめきセンターで「平成24年度こころの健康づくり講演会inそお」が開催されました。

この講演会は、自殺や精神疾患についての正しい知識の普及や相談窓口の周知を図るとともに、自らのこころの健康づくりの必要性に目を向け、考える機会にさせていただくことを目的に行っているものです。

今回は、「かえる寺」で有名な清影山如意輪寺（福岡県小郡市）住職の原口元秀さんが「こころの健康～心豊かに 命満開～」と題し講演されました。生き生きと幸せな生活を送るための「あ（安眠）・い（色気）・う（運動）・え（笑顔）・お（おしゃれ）」等ユーモアを交えた原口さんの明るく前向きなお話により、約350名の会場は笑顔満開となりました。

参加された方からは「とても素晴らしい、楽しい講演会で、元気をもらいました」「毎日悩んでいっぱいですが、笑顔で頑張ります」といった感想をいただきました。



明るく話をされる原口住職

「すこやかなる美」を目指し



延平桃太郎さんと「大樹深根」

8月23日から28日までの6日間、しやら交流芸術館（財部町南俣）で、「^{むしろびら}延平桃太郎書の個展」が開かれました。

延平桃太郎さんは、財部町切通出身の書家です。今回の個展は、財部中学校の同級生が実行委員となり、10年ぶりの地元開催となりました。

テーマは「母の歌」です。昨年11月に92歳で逝った母トシ子さんへの思いや、ふるさとへの愛情が込められた作品が展示されました。

今回の個展について、「作品を通じて、母や故郷への感謝の気持ちを伝えたい」と述べ、「これからも『すこやかなる美』を目指し、ずっと飽きのこない作品を作っていきたい」と話されました。

さらなる高みへ

6月に日置市で開催された第34回鹿児島県少年剣道錬成大会（女子個人）において、末吉武道館^{はやし}の林山仁美（末吉小）^{やまひとみ}さんが見事栄冠を勝ち取りました。

各県代表が出場する全国大会は、10月7日に北九州市で開催され、そこでも上位入賞を狙っています。

林山さんは「県大会で優勝することは、ずっと目標としてきました。昨年準決勝で負けてから一年間、厳しい練習に耐え、達成できた時は涙がとまりませんでした。全国大会は、いつも支えてもらっている主将を始めチームメイトや監督の為にも一つでも多く勝ち進みたいです」と力強く話してくれました。



全国大会へ出場する林山仁美さん

弥五郎サミット交流会



手作りの名刺をお互いに交換し合う様子



60名の児童が「弥五郎どん」で繋がりました！

8月8日、「第17回弥五郎サミット交流会」が開催されました。

この交流会は、鹿児島、宮崎両県に伝わる巨人「弥五郎どん」が縁で岩川小学校の6年生と都城市立富吉^{よし}小学校5・6年生の児童が毎年夏休みに文化交流を図り、相互の親睦と友情を深めることを目的に開催されているものです。

今年の交流会は、大隅中央公民館で児童の手作りの名刺交換やレクリエーションでお互いに慣れ親しんだり、創作活動で弥五郎どんの砂絵に挑戦したりしました。午後は弥五郎まつり館へ場所を移し、弥五郎どんについて学びました。実物大の弥五郎どん等を見学し、その感想を語りながら両校の児童はすっかり仲良くなり、充実した交流会となりました。